

# 北郷里小学校からの報告

活動団体名： 北郷里小学校

活動人数： 35人（教員2名）

取組時間： 総合的な学習の時間

## 調査内容 1回目：6月13日（火）春近川上流 2回目：6月16日（金）春近川下流

春近川の上流地点と下流地点を調査しました。毎年同じポイントを調査することで、水生生物の生息の実態から水の汚れ具合を比較することにしています。まず、川へ入る前に予想を立て、川辺から川の様子を観察しました。上流も下流も水は透明で特に臭いはしませんでした。その後川に入り、水生生物が隠れていそうな水草の間、川底や側面の岩の間などを網やザルで探ると、たくさんの水生生物がとれ、子どもたちは夢中になって採取していました。水生生物の採取後、種類ごとに分類し、調査結果表に当てはめながら水の状態を推測していきました。見つかった水生生物から水の状態を判定したり、パックテストによる調査を行ったりして春近川は「きれい」と判定することができました。子どもたちは普段から目にしている川にこんなにも多くの水生生物がいることに驚き、昆虫を触るのが苦手な子でも、たくさんの水生生物がとれたことに喜んでいました。



調査が終わった後、水生生物を元の川に放流することで、生き物の命の大切さを感じ取ることもできました。

## 調査員の感想

- ・サワガニがたくさん取れて、楽しかった。カニが食べ物を持って逃げたところを見て驚いた。
- ・最初入る時は汚いと思ったけど、実際に入ってみると綺麗だった。
- ・どじょうのような生き物もいて、見つけたときは嬉しかった。
- ・貝が石などにたくさんくっついていて、普段見えない所にも生き物があると発見できた。

## 捕まえた生き物たち

調査の結果、春近川の上流にも下流にもたくさんサワガニがいた。タニシやシジミ類、ドジョウ、カワニナ、スジエビなどの生き物を見つけることができました。

## 調査のまとめ

水生生物の調査結果から、春近川は「きれいな川」という結果でした。しかし、上流と下流とでは、下流のほうがきれいだという結果になりました。子どもたちにとって、水生生物の調査は地域の川と触れ合う良い機会になりました。「他の生き物も取りたい!」、「あっという間に終わった。」、「もっと調べたい。」など、身近な自然に興味をもっていました。また、身近な環境について考えるきっかけにもなりました。数年間の調査結果と比較してみると、春近川の環境は大きく変化をしていないことがわかりました。地域の川を守っていくためには何ができるのかを子どもたちに考えさせ、自然を大切にする気持ちを育てていきたいと思います。

# 活動の様子

【春近川上流で生き物を探す様子】



【ザルを使って生き物を探す様子】



【春近川下流で生き物を探す様子】



【協力して調べる様子】



【サワガニをさわる様子】



【生き物を触る様子】



【図鑑で確認する様子】



【パックテストの結果】

